

2014年 西日本 6/6

「ハンセン病体溶ける」

人権授業 児童に誤解

福岡の小学校

恵楓園に感想文 県教委が謝罪

福岡県内の小学校で昨冬、人権教育を担当する40代の男性教諭が授業で「ハンセン病は体が溶ける病気」などと説明し、授業を受けた半数以上の児童が「怖い」「うつらないようにマスクをする」と書いた感想文を熊本県合志市の国立ハンセン病療養所「菊池恵楓園」に郵送していたことが分かった。男性教諭は「過去の誤った認識を教えたつもりだった」と釈明したが、福岡県教育委員会は今年4月、「指導が不十分で、児童に誤解を与えた」として園側に謝罪。独自の指導書を近く作成する。

県教委によると、男性教諭は昨年11月、6年生の1学級でハンセン病への偏見や差別をテーマに授業を実施。児童十数人と学級担任の別の教諭が教材を見ながら授業を受けた。授業後の思いを入所者に伝えようと、児童が感想文を書き、

12月に恵楓園へ送った。ところが、園に届いた感想文には「差別はいけな」などの記述のほかに、10人近くの児童が「ハンセン病は怖い」「おそろしい」と書いていた。友達がかかると病にかかったら、私ははなれておきます」と過剰に恐

れる表現や、「骨がとけ、けずれていく」との事実誤認もあった。園側は担任教諭もあつた。園側は担任教諭に連絡がなかったため、福岡県教委に連絡。県教委や学

校が事実関係を調査した。県教委によると、男性教諭は「誤った認識が過去にあったと授業の最初に伝え、その後、認識は間違っていたと教える授業展開だったが、説明が不十分で伝い表現があつた。感想文は郵送前に担任教諭が読んでいたが、担任教諭は「感想文の内容に問題があると思わずに郵送した。認識不足だった」と話しているという。

男性教諭は2010年以降、今回の授業を含めて計4回、6年生を対象に同じ教材で授業をしていた。県教委は「ほかの子どもも誤った認識を持っている可能性がある」として、既に中学校に進学している生徒に対して授業をやり直すよう指示している。

(中川次郎、和田剛)

「友達がかかったらはなれます」

「中途半端な人権教育なら、差別が世代を超えて連鎖しかねない」。今回の感想文を受け取った菊池恵楓園入所者自治会長の志村康さん(81)はハンセン病への理解が進まない現状を嘆いた。

「ハンセン病はこわい病気。ぼくはうつらないようにマスクをするけど仲良くいられる自信があります」

「友達がかかると病にかかったら、私ははなれておきます」と過剰に恐

「半端な教育」入所者嘆く

ハンセン病の感染力は弱く、入所者は完治しているが、半数以上の感想文に「怖い」と書かれ、胸がつぶれるような思いになったという。

ただ、中には「差別はいけな」との言葉もあった。「啓発したいという思いは伝わるので、先生を責めるつもりはない。ただ、正しい知識が伝わらなければ意味がない」と話す。

差別や偏見をなくするには入所者が各学校へ「向いて直接う注文する。」

論が読んでいたが、担任教諭は「感想文の内容に問題があると思わずに郵送した。認識不足だった」と話しているという。

男性教諭は2010年以降、今回の授業を含めて計4回、6年生を対象に同じ教材で授業をしていた。県教委は「ほかの子どもも誤った認識を持っている可能性がある」として、既に中学校に進学している生徒に対して授業をやり直すよう指示している。

(中川次郎、和田剛)



記事

株価

トップ 経済・政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際・アジア スポーツ 社会 地域 オピニオン 文化 マネー ライフ

速報 朝刊・夕刊 日経会社情報 人事ウォッチ Myニュース

「ハンセン病は体溶ける」 福岡の小学教諭が授業で話す

2014/6/6付

保存 共有 印刷 共有 ツイート その他

福岡県の公立小学校で人権教育を担当する40代男性教諭が「ハンセン病は体が溶ける病気」「風邪と一緒に菌によってうつる」と授業で説明し、誤解した児童が「怖い」「友達がかかったら離れておきます」などと記した感想文が熊本県の国立ハンセン病療養所「菊池恵楓園」に届いていたことが6日、分かった。

ハンセン病は感染力が弱く、治療法も確立している。教諭は「誤った認識が過去にあったことを教えたつもりだが、説明不足だった。申し訳ない」と釈明しているという。県教育委員会は菊池恵楓園に謝罪した。

県教委によると、教諭は昨年11月、ハンセン病への偏見や差別について6年生12人に自作の教材を使って授業をした。教材には「手足の指や身体が少しずつ溶けていく」といった説明があった。感想文は12月に園に郵送された。

今年4月に園の指摘を受け、県教委の人権・同和教育課長らが園を訪ねて謝罪した。

教諭はこの小学校で2010年度から、同じ教材を使って6年生に授業をしていた。県教委は中学校に進学した生徒に指導をやり直すよう、関係市町村教委に指示した。

菊池恵楓園の入所者自治会の志村康会長は「差別の連鎖が教育の中で生み出されている。福岡県教委は教師向けの指導書を作るべきだ」と話している。〔共同〕

無料・有料プランを選択

会員の方はこちら

今すぐ登録

ログイン

保存 共有 印刷 共有 GO ME ツイート その他

類似している記事 (自動検索)

体罰の小学校教諭を停職 愛知・豊橋、児童9人中3自殺、学校側を提訴 両親「対応不適切」 愛知・一宮
2018/2/9 13:07 2018/2/6 21:00

保護者説明会で校長謝罪 教諭体罰、豊橋の小学校 「信頼裏切った」教委謝罪 愛知・豊橋市立小の体罰
2017/11/10 22:42 2017/11/9 19:30

PR 誰にも知られず自宅マンションのお値段、出せます/東京レジデンスマーケット

関連キーワード

ハンセン病 菊池恵楓園 志村康

電子版トップ

アクセスランキング

一覧 >

1. 電波割当先、分単位で自動変更 5Gに5分未満で対応
2. 韓国の若者「日流」ブーム
3. 「PBR1倍割れは割安」本当？

成長に熱狂しよう！
日経STUDYUM
10月セミナー、受け付け中

日経からのお知らせ

キャリア採用、通年で募集

日経電子版をもっと知りたい方はこちら

1時間半でネットビジネスの過去と未来を見直す

おすすめ情報

SNSの写真を見返して就活に勝て
就活の自由化・通年化が無理な理由
大人の隠れ家 自分だけの時間と空間
転職経験ないなら受けるべき無料診断
オーストラリアで海の家を満喫しよう
怖い「糖化」はお酒を飲むと加速？
中国ビジネス、狙い目はどこ？
公共政策・税務の専門性を高める

- College Cafe
- BizGate
- レストラン
- 転職
- 海外不動産
- Goodday
- BizGate
- 社会人大学院

[PR]

一覧はこちら

アクセント
ブロックチェーンをビジネスにどう活用していくべきか



逆流性食道炎とは
ドクターがわかりやすく解説 働く人とその家族のための健康講座 第一三共株式会社



「争族」で困らないために
基礎控除の縮小で課税対象者が増加。「うちは関係ない」は昔の話/相続税理士特集



ロコモって、どんな病気？



最新ニュース

デジタルサイネージに
もう1ひねり

読売新聞ニュース配信サービス

今なら30日間お試し無料!

九州発 **最新ニュース** ニュース写真 特集 生活 お出かけ スポーツ 文化 イベント

九州発 最新ニュース

「ハンセン病は体溶ける」授業で誤解の感想文

2014年06月07日 ツイート 1

福岡県内の小学校で昨年11月、人権教育担当の男性教諭からハンセン病に関する授業を受けた児童が、「ハンセン病は体が溶ける病気」などと誤った内容の感想文を書き、熊本県合志市の国立ハンセン病療養所「菊池恵楓園」に送られていたことがわかった。園側の指摘を受け、福岡県教委は「指導が不十分だった」として謝罪した。

県教委によると、男性教諭は6年生12人に自作の教材を使い、ハンセン病に関する偏見や差別についての授業を行った。教材の冒頭に、過去の偏見として「手足の指とか身体が少しずつ溶けていく」などの記述があった。

約10日後、この授業に同席していた担任教諭が児童に感想文を書かせたところ、「怖い」「友達がハンセン病にかかったら、離れておきます」「うつらないようにマスクをする」など、ハンセン病を誤解したものが多く見られた。感想文に目を通した担任教諭は病気への知識がなく、そのまま恵楓園に送ってしまったという。

2014年06月07日 Copyright © The Yomiuri Shimbun

最新ニュース 最新記事

- 迫力「お上り」沿道沸く...長崎くんちファイナーレ (2018年10月10日)
- 「豊肥線早期復旧を」JR九州に要望書、阿蘇市町村会など (2018年10月10日)
- 小倉井筒屋大規模改装、本館・新館20億円投資...20年春メド (2018年10月10日)
- 上期倒産12.2%増286件、今年度7年ぶり前年上回る...九州・沖縄 (2018年10月10日)
- 滑めの泥、宮古島で奇祭パレード (2018年10月09日)
- 門司港駅、レトロに新しく (2018年10月09日)
- ホワイトタイガーに飼育員襲われ死亡、鹿児島動物園 (2018年10月09日)
- サンタ15人佐賀に到着、空港で県民と交流...サミット (2018年10月08日)
- ゆめ花博で維新150年式典 (2018年10月08日)
- 景清洞の壁泥投げた跡、数年前から被害「最近2、3年で増加」...美祢の国天然記念物 (2018年10月08日)
- 小倉競輪で停電、夜のレース中止...車券払い戻し (2018年10月08日)
- 豊見城市長選に、現新3人立候補 (2018年10月08日)
- 合成麻薬密輸の疑い、グラミー賞DJ逮捕...福岡空港署 (2018年10月08日)
- 長崎の秋、勇壮...長崎くんち (2018年10月08日)
- 長濱さんゆかりの地紹介、新上五島有志マップ制作...樺坂46メンバー・人気受け第2弾発行へ (2018年10月07日)
- 救出クジラか、死骸が漂着...宮崎市胃島 (2018年10月07日)
- 皇太子ご夫妻国文祭に...大分 (2018年10月07日)
- カネミ油症50年、救済充実を訴え...患者ら福岡で集会 (2018年10月07日)
- 最新ファッション、1万3200人歓声...TGC北九州 (2018年10月07日)
- 山車飾る作業中柱の下敷き、死亡...河田強風が原因か (2018年10月07日)
- 台風25号、1万4000戸停電...対馬で風速39.5メートル (2018年10月07日)

最新ニュース

- 前鞍手町長1000万円収賄容疑、再逮捕...老人ホーム新設巡り期蝸額自ら提示
- 水素トラック天神走る、初の公道実証実験
- 2歳の娘包丁で刺す、殺人未遂容疑で母逮捕...福岡


PR情報

第20回高校生小論文コンクール 募集要項

EPSON 薄くて軽い!!
EXCEED YOUR VISION 薄さ約4.4mm、重さ約1.8kg

どこでもスグ使える「ピタッと補正」

エプソンのモバイルプロジェクター



今月のPICK UP(PR)

- 「国内格安航空券」の比較・検索、申込みはこちら
- 読売新聞住宅展示場 ハウジングメッセ福岡
- 「すぐに役立つ住宅情報」関連リンク集

よみうりUSPACEラボ

“気軽に参加できる講座”はじめてます!

今月のUSPACEラボ HERE!
SPACE on the Station
毎月1000円 (税込) 10月10日

リンク

- プリントメディア西部
- 読売西部サービス
- 読売西部情報開発
- よみうりFBS文化センター
- オリコミ読売西部アイエス

読売新聞西部本社からのお知らせ

- 会社案内 採用情報 投稿のご案内
- 記者講師派遣
- あなたの街の読売新聞販売店
- 編集補助員(アルバイト)の募集

九州・山口の大学・専門学校へ通う学生への

読売新聞の奨学金

よみうり 奨学金



ハンセン病問題 子に正しい知識を

ハンセン病問題学習資料集では、写真も掲載し指導上の留意点などが細かく書かれている



福岡県教育総研、学習資料集を作成

ハンセン病問題学習資料集を小中学校で教えるのに役立つよう、福岡県教職員組合の研究機関が教員向けの学習資料集を作成した。ハンセン病の歴史や治療を受けた児童が誤った認識に基づく感想文を書き、ハンセン病療養所に送られた出来事を教訓に、有志が取り組んだ。

「教師側の責任が当然問われた」。県教育総合研究所（福岡市東区）の研究員高浜俊雄さん（66）が、4年前の衝撃を振り返った。

2013年11月、県内で人権教育を担当する40代男性教師が、小学6年生の社会科授業でハンセン病を取り上げた。児童や差別をテーマにしたが、児童の感想文には「もし友達がかか

ハンセン病問題

らい菌に皮膚や末梢（まっしょう）神経が侵される慢性疾患。骨が溶けることが多く、病気を起こす毒性は非常に弱い。顔や手足が変形する後遺症から偏見と差別を招いた。国は1907年に患者の隔離政策を始め、断種や堕胎などを強めた。その後96年のらい予防法廃止まで続き、違憲とする2001年の熊本地裁判決が確定した。



資料集を手にする高浜俊雄さん。福岡市東区の県教育総合研究所

誤解に基づいた児童の感想文を教訓に

「たら、私は離れておく」「骨が溶ける病気」などと記され、そのままだらけの市立療養所「菊池恵楓園」に郵送された問題になった。

病気と偏見の歴史 2年かけまとめ

高浜さんは「授業を作る教師が正しい認識を持っていかねば」と指摘。そんな問題意識から14年12月、組合員の教師ら約10人で検討委員会が発足した。菊池恵楓園のボランティアガイドも加わり2年余りで計24回、手探りで議論を重ね、今年4月下旬に58冊の冊子にまとめた。資料集は順次、組合員に配布するという。

資料集は、小学校高学年と中学生が対象。「自分ができるとは何かを考えてもらう」ことが目標だ。

指導の流れは3段階。感染力が非常に弱いなど病気の内容を学び、当時の強制隔離政策で地域住民らも関わって偏見や差別が生まれた背景を知る。次に、隔離された療養所で堕胎の強制などの人権侵害が行われ、その後入所者が国の責任を追及した歴史を学ぶ。最後に、今なお根強く残る偏見と差別の現状を知る。

段階ごとに「うつりにくく治る病気なのに、なぜ隔離したのかを考えさせる」など指導上の留意点も付けた。

序文には「教育の加害性」も明記した。1978年まで学校伝染病に指定され、各県が患者を探して療養所に収容する運動では、学校も身体検査などで加担し、差別を助長させた側面があった。高浜さんは「教育現場は加害的立場にもなり得る。子ども側の立った人権教育をしているかというメッセージを込めた」と話す。

教諭ら授業に活用 時間確保に課題も

昨年度には、完成前の資料集を使って、九つの小中学校で授業が行われた。

筑紫小（福岡県筑紫野市）では桑野真一教諭が、昨年10月に5年生に計3時限を充てた。水俣病問題は教えたことはあったが、ハンセン病の授業は初めてだった。「どう教えるべきか、3段階の指導の流れや豊富な資料が役立つ」という。桑野さんなりの工夫もした。授業の前に同僚と熊本県の療養所を訪ね、入所者に直接話を聞いた。

「子どもたちに元患者の思いを考えてもらいたかった」という。一方、県教委もハンセン病問題文の問題を受け、2014年11月に教職員向けの学習資料用に全8冊のパンフレットを作り、小中学校に配布した。ただ活用は自主判断に委ねられている。ハンセン病問題のような人権教育は、教科のように授業時間が確保されておらず、社会科や総合学習の時間などを使って教員が自主的に行っているのが現状だという。（小川直樹）

ハンセン病教育 模索

教員「差別繰り返し返さない」

昨年6月の熊本地裁判決で、家族が受けた差別に対する国の責任も認められたハンセン病問題を巡り、教育のあり方を見つめ直す動きが広がっている。判決は文部科学相が差別解消に向けた学校教育を進める義務を怠ったと指摘。実際に福岡県の小学校では7年前、児童が偏見に基づく感想文を書き送った問題が波紋を広げた。ハンセン病を正しく伝え、差別を繰り返さない教育とは。現場の教諭は試行錯誤を続ける。

「この手はね、ハンセン病の後遺症があるんだよ」
 1月22日、福岡県久留米市の金丸小。ハンセン病をテーマにした5年生の授業で中修一さん(右)が指先の曲がった手を見せ、子どもたちが中修一さん(58)が授業の狙いを明かした。「指先が冷えてたけど、ほかの人と変わらない」と言ってみせた。



中修一さんは国立療養所「菊池忠興」で児童がハンセン病を学ぶ

当事者招き授業も

機会は少ない。教員も当初、どう教えるべきか悩んだ。教員有志はハンセン病国賠訴訟弁護団の徳田靖之弁護士(大分県)を訪ねた。痛烈だったのは教育現場も加担した強制隔離の歴史。都道府県が患者を探し、療養所に収容した「無らい県運動」では教員が児童を患者として通報することもあった。「差別が続いた背景には教育の責任もある」。一人一人が自問した。



①「ハンセン病の後遺症があるんだよ」と子どもたちに指先を見せる中修一さん(右) = 1月22日午後、福岡県久留米市の金丸小
 ②新たな偏見、差別を生むことのないよう、授業を進める注意点を記した「ハンセン病問題学習資料集」

福岡県教職員組合の研究機関「県教育総合研究所」は3年前、小中学校の教員向けにハンセン病の指導計画を盛り込んだ学習資料集を作成した。念頭にあるのは、教える側の認識不足が引き起こした問題だった。

13年11月、県内の小学6年生の授業で教諭が「ハンセン病は体が溶ける病気」などと誤った説明をした。児童は「怖い」「友達がかかったら、私ははなれておく」と感想文につづり、そのまま徳田に郵送。県教育委員会が謝罪する事態となった。教諭自身がどこまで理解できていたのか。研究員の高浜俊雄さん(68)は振り返る。

これを教訓に、教諭ら約10人が2年以上の議論を重ねて授業展開案を検討した。例えば患部を囲った遮断防止用のコンクリート壁を紹介する授業では「うつりにくく、治る病気であるのに、なぜ隔離したのかを考えさせる」などと具体的な留意点を記し、今も残る差別について考えさせる56頁の資料集を作った。家族訴訟を加えた改訂版の検討も始まった。

誤った理解から偏見や差別は生まれ、深刻化する。同じ過ちを二度と繰り返さないために、高浜さんは考え続ける。「授業では元患者を同情の対象でなく、同じ人権を持つ個人として意識させることが大切だ。子どもにハンセン病の愛情や過去の隔離政策を正しく伝えることが、差別や偏見の解消につながっていく」(山下恵)